

薬剤耐性イネいもち病菌の発生状況(2005)と Dr. オリゼプリンス粒剤10H(播種時処理)の葉いもち防除効果

県東部・中部・西部(一部)で、
ウィン剤、デラウス剤
アチーブ剤の効果が
低下しています!



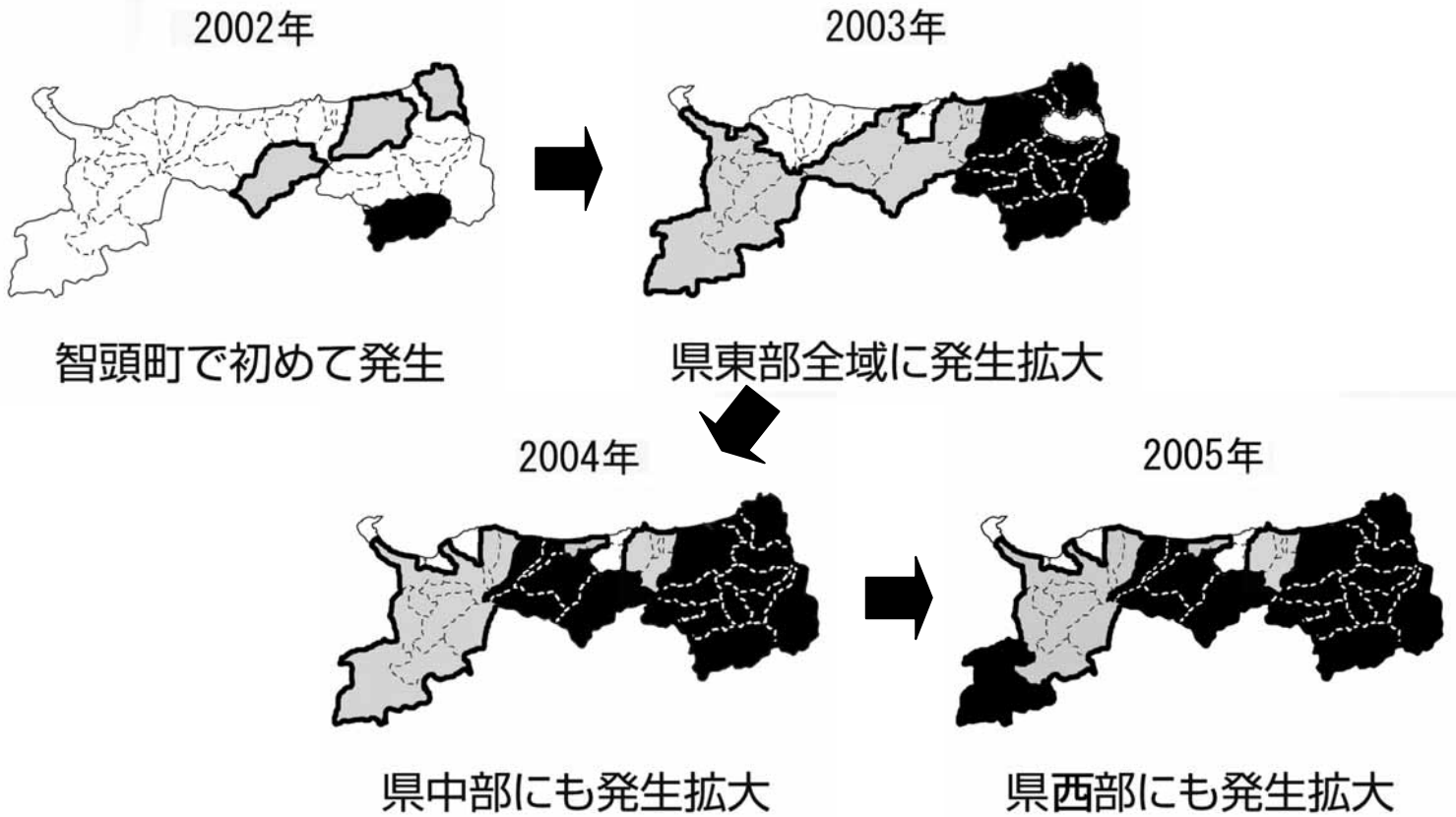
原因は
薬剤耐性菌の発生



- ・耐性菌発生地域または山間地では、デラウスプリンス 剤粒の**播種時処理**は、効果が低下する恐れがあります。
- ・代替薬剤として、**D.オリゼプリンス粒剤10H**が有効です。
平坦地および中山間地では、**D.オリゼプリンス粒剤10H**は**D.オリゼプリンス粒剤10**と**同等の高い**防除効果が得られますが、山間地では効果が低下する場合がありますので注意が必要です。



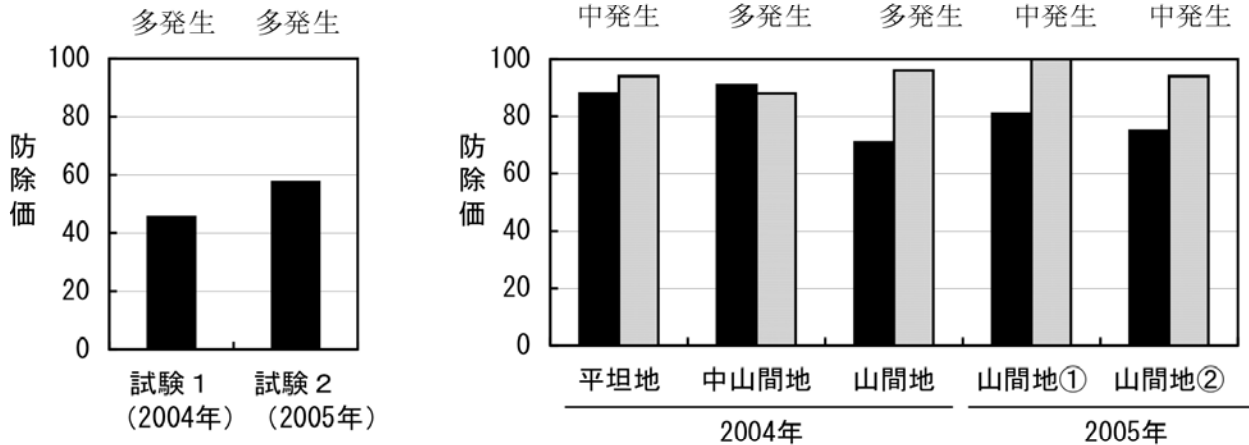
効果のある薬剤を選択して、いもち病の防除を徹底しましょう!



MBI-D 統薬剤耐性イネいもち病菌の発生拡大 (2002~2005年)

BI-D 統薬剤：ウィンアドマイヤー箱粒剤、デラウスプリンス粒剤10、アチーブ粉剤DL等

■：耐性菌発生地域，■：耐性菌未発生地域，□：未調査地域。
耐性菌発生地域および調査地域は調査年以前の該当地域を含む。



2 育苗期の葉いもちに対する Dr. オリゼプリンス粒剤10H の防除効果

図3 葉いもちに対するDr. オリゼプリンス粒剤10Hの播種時処理の防除効果
■ Dr. オリゼプリンス粒剤10H (播種時・50g/箱)
■ Dr. オリゼプリンス粒剤10 (移植当日・50g/箱)

山間地では、防除効果が低下する傾向がみられるので、注意が必要です！

・MBI-D系統薬剤を使用して防除効果の低下が確認された場合は お近くのJA、 及所等に連絡するとともに、必要に応じて代替薬剤による追加防除を行 ませよ